

令和5年度普通科改革支援事業指定校発表

# 長崎県立松浦高等学校の取組における 成果と課題

長崎県教育庁高校教育課  
令和5年9月22日(金)

# 内容

- 0 . はじめに
- 1 . 長崎県立松浦高校の学校改革
- 2 . 本事業における松浦市の支援
- 3 . 松浦高校地域科学科が目指すところ
- 4 . 令和4年度の本事業の成果と課題

# はじめに

今日は 令和5年9月22日  
明日は . . .



西九州新幹線 長崎～武雄温泉  
開業1周年！

# 1 . 長崎県立松浦高校の学校改革

|     |   |
|-----|---|
| H25 | 生徒数の減少により普通科が1学年4学級から3学級となる<br><b>松浦市による就学支援制度</b> 開始   |
| H26 | <b>商業科を新設</b><br>普通科3学級                      普通科2学級・商業科1学級                                      |
| H29 | 地域課題解決学習「 <b>まつナビ</b> 」スタート   |
| R 2 | 文部科学省「 <b>地域との協働による高等学校教育改革推進事業</b> 」<br><b>研究指定</b> （～R4年度）                                    |
| R 4 | <b>普通科を地域科学科に改編</b><br>文部科学省「 <b>新時代に対応した高等学校教育改革推進事業（普通科<br/>改革支援事業）</b> 」 <b>研究指定</b> （～R6年度） |

## 2 . 本事業における松浦市の支援



コンソーシアム会議（令和4年度）

松浦市 友田 吉泰 市長

持続可能なまちづくりのためには  
教育は必須であり、教育の中に高校  
は当然入ります

学事出版『月刊高校教育』2022年8月号

### 松浦市の支援

補習・土曜講座費の半額補助  
模試・検定代の半額補助  
教材費の半額補助  
航路代金の全額補助（鷹島・福島）  
下宿代の補助（主に運動部活動）  
松浦高校魅力化への支援

# 3 . 松浦高校 地域科学科が目指すところ

## ○本事業の目的

地域や社会の未来を担うリーダーの育成

~ 目指す資質・能力の涵養と地域活性化への貢献

## ○目標

生徒個々のキャリアプランに基づく進路希望の実現

中学校、大学等との協働による地域活性化への貢献

県内外の「地域に根ざした高等学校」との連携等による学校活性化

# 内容

- 0 . はじめに
- 1 . 長崎県立松浦高校の学校改革
- 2 . 本事業における松浦市の支援
- 3 . 松浦高校地域科学科が目指すところ
- 4 . **令和4年度の本事業の成果と課題**

## 4 . 令和4年度の本事業の成果と課題 【令和4年度の実施計画】

- 計画 各教育活動ルーブリック評価規準作成・実践・改善
- 計画 中高・高大職連携の推進とその効果等の検証に基づく連携・協力体制の在り方を含む改善
- 計画 「地域高校」ネットワークの構築・交流の開始

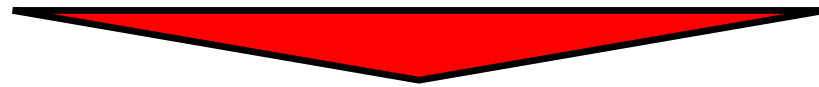


# 計画 各教育活動ルーブリック評価規準作成・実践・改善

## 【具体的取組および成果と課題】

### 【具体的取組】

- 教員のプロジェクトチームとカリキュラム専門家（大学教員）でルーブリックを作成した
- 各活動の振り返りの際にルーブリックを用いて自己評価を行った
  - 活動を「松高ポートフォリオ」にまとめた



### 【成果】

- 生徒は、ポートフォリオ及び、ルーブリックを用いて、日々の学習や活動の振り返りを行うことで、自らの学びの内容の深まりについて検証・改善を図ることができた。

### 【課題】

ルーブリックの作成は、プロジェクトチームの教員だけで行っており、その意義が全教員に浸透していない。  
ルーブリック評価の表現が難しく、生徒にとって分かりづらい  
ポートフォリオの活用の工夫

# 計画 各教育活動ルーブリック評価規準作成・実践・改善 【課題の改善】

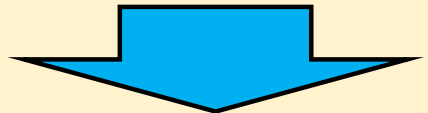
## 【課題】

ルーブリックの作成は、プロジェクトチームの教員だけで行っており、その意義が全教員に浸透していない。  
ルーブリック評価の表現が難しく、生徒にとって分かりづらい  
ポートフォリオの活用の工夫

- 
- ・ 高校と管理機関との情報交換
  - ・ 高校、管理機関と大学教員との意見交換

## 【R5当初に改善したこと】

生徒にとって分かりやすく、他者からの評価も取り入れやすいルーブリックに改善  
ポートフォリオのデジタル化（一人一台端末の活用）  
タイムリーな振り返りにつなげる



運営指導委員会、コンソーシアムで提示し指導助言を受けた

# 計画 各教育活動ルーブリック評価規準作成・実践・改善 【課題の改善（今後へ向けて）】

ルーブリック作成の  
ブラッシュアップミーティングイメージ（案）



（メリット）

- 生徒が関わることで、より主体性が芽生える
- 地域の方が関わることで、新たな視点での評価ができる
- 卒業生が関わることで、大学での学びにつなげることができる

# 松浦高校 地域科学科が目指すところ

## ○令和4年度の実施計画

計画 各教育活動ルーブリック評価規準作成・実践・改善

計画 中高・高大職連携の推進とその効果等の検証に基づく連携・協力体制の在り方を含む改善

計画 「地域高校」ネットワークの構築・交流の開始

# 計画 中高・高大職連携の推進とその効果等の検証に基づく連携・協力体制の在り方を含む改善 【具体的取組および成果と課題】

## 【具体的取組】

### 小中学校との連携

教員間の交流（まずは公開授業から）

#### ○生徒間交流

- ・中学校での「課題解決学習」の発表
- ・小学生へのサイバーセキュリティ講座の実施

#### ○積極的な広報活動

コーディネーター

（前松浦市立中校長・松浦高校OB）

の役割大

## 【具体的取組】

### 大学との連携

長崎大学教育学部、長崎県立大学との連携

- ・大学生のポスターセッション参観とゼミへの参加
- ・卒業論文発表会の参観



長崎大学のゼミでの研究発表

## 【課題】

生徒の課題解決力を育むための連携の再検討！

# 計画 中高・高大職連携の推進とその効果等の検証に基づく連携・協力体制の在り方を含む改善 【具体的取組および成果と課題】

## 【具体的取組】

### 企業や外部機関との連携

生徒企画のバスツアーで、市内や近隣市の見学  
および質疑

・グループでの活動

○外部講師による「探究」に関する講演会の実施

・松浦市職員、大学教授も含めたグループワーク



グループ探究活動

## 【成果】

○「ふるさとを大切にする姿勢」の醸成が図られた  
探究の手法や対話のスキル、必要なマインドセット  
を一定身に付けることができた



外部講師による探究講演

## 【課題】

生徒の研究と地域のリソースとのマッチングが不十分  
課題解決に必要なデータの収集・活用・分析力の育成が不十分

# 計画 中高・高大職連携の推進とその効果等の検証に 基づく連携・協力体制の在り方を含む改善 【課題の改善】

## 【課題】

生徒の研究と地域のリソースとのマッチングが不十分  
課題解決に必要なデータの収集・活用・分析力の育成が不十分

## 【R5に改善したこと】

「まつうら高校応援団」の組織化

学校（生徒）と地域企業・外部機関とのマッチングを担う協力組織

- ・登録数 16事業所（5月24日現在）
- ・「まつナビ」における生徒の活動に対する支援
- ・地元企業でのインターンシップ

「まつナビ」支援金制度設立

生徒による企画書の作成と支援金の要求

- ・地元企業との連携
- ・企画書について、松浦市政策企画課、県政策企画課（コンソーシアム委員）から助言をもらう

# 松浦高校 地域科学科が目指すところ

## ○令和4年度の実施計画

計画 各教育活動ルーブリック評価規準作成・実践・改善

計画 中高・高大職連携の推進とその効果等の検証に基づく連携・協力体制の在り方を含む改善

計画 「地域高校」ネットワークの構築・交流の開始



# 計画 「地域高校」ネットワークの構築・交流の開始

## 【具体的取組および成果と課題】

### 【具体的取組】

県内県立高校 9校とネットワークを構築し、2回の教員研修会を実施（オンライン）

- ・ 大学教授による生徒向け講演と他校教員との意見交換
- ・ 他県先進校教諭による生徒向け講演と他校教員との意見交換

### 【成果】

- 学校の魅力化・特色化や探究活動等に関する情報共有を図ることができた
- 参加者の意識の高揚を図ることができた



大学教授による生徒向け講演



地域高校とのオンライン研修会

### 【課題】

- 担当者間での振り返りが不十分
- 生徒間交流をどうしていくか
  - ・ 移動に係る経費をどうするか
  - ・ 目的を他校とどう共有するか
  - ・ 生徒の課題解決力をどう高めていくか

# 計画 「地域高校」ネットワークの構築・交流の開始

## 【課題の改善】

### 【課題】

担当者間での振り返りが不十分  
生徒間交流をどうしていくか

- ・移動に係る経費をどうするか
- ・目的を他校とどう共有するか
- ・生徒の課題解決力をどう高めていくか

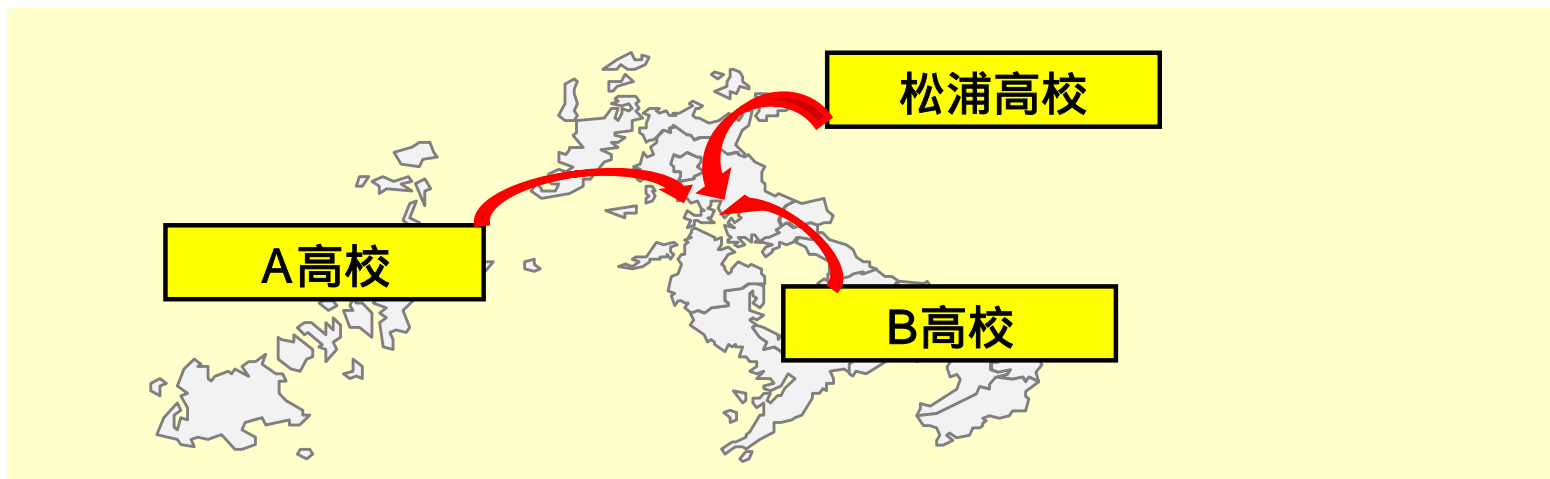
### 【R5に検討していること】

外部講師による他校教員も参加した研修会の実施（ 6月30日実施、 10月27日実施予定）

外部機関との連携

探究的な学びを実践している学校との合同での発表会

- ・探究的な学びを推進している学校との生徒間連携を検討中



## その他 今後へ向けて検討事項

2年生徒による他校との交流

参加する生徒をどのように決めるのか

1年生のテーマ設定の発表会について

2年生も参加して、助言することを検討するか

長崎県立大学のゼミ生との連携を具体的にどうするか

- ・ゼミの生徒に、各グループの伴走者として支援を依頼
- ・ループリックの作成に関与してもらうことも検討

地域科学科と商業科との連携

- ・「情報処理」や「マーケティング」等の授業内容をカリキュラムの中に取り入れることは可能か

教員のマインド・セットを高めるための組織づくり

地域素材を活用した授業開発

# その他 今後へ向けて検討事項

## 地域素材を活用した授業開発 (R5年度計画抜粋)

| 教科       | 概要  | 目的                                      |
|----------|---|---|
| 国語       | 「松浦の民話」等の題材に、よく知られている民話も、地域によって異なることを知り、民話の比較を通して民話の存在意義を考える。   | 民話を身近なものとして味わい、地域に対する愛着を深める             |
| 地歴<br>公民 | 歴史総合の授業の中で、自分の住む地域、松浦市、周辺地域の歴史を調べ、調べたことをもとに「問い」を立てさせて、さらに調査研究を深める   | テーマ設定力                                  |
| 数学       | 数学の「データ分析」の中で、松浦市の様々なデータ(変量)の相関の有無を「相関係数」の値で判断し、自分たちの主張する根拠となるデータを探す。<br>近隣市町のデータと比較することで、松浦市の強み・弱みを理解する。 | 相関係数の求め方を理解し、その結果をもとに身近なデータを分析・判断する力を養う |

各教科で検討 長崎大学教育学部による援助

参考

# 成果の検証

ループリックによる検証

令和4年度に作成、令和5年度改善

質問紙法（松浦高校作成）による検証

高校魅力化評価システム分析結果による検証

# 成果の検証

## ループリックによる検証

### 令和4年度ループリック

| 育成を図る資質能力 | テーマ設定力  | 課題発見力   | 論理的思考力  | コミュニケーション力（傾聴・対話・発信）  |
|-----------|---|---|---|---|
| 評価基準      | ①現状分析がしっかりできているか  | ②フィールドワークの効果が見られるか  | ③今後の展望（提言・実践）が明確か   | ④パワーポイントに見やすさ等内容に工夫が見られ、発表姿勢（原稿なしの発表）や時間は適切か                                      |
| 評価の観点     | 思考力・判断力・表現力等（メタ認知的活動1：省察・評価）                                  | 学びに向かう力・人間性等（レジリエンス能力）                                    | 論理的思考力・判断力・表現力等（メタ認知的活動2：「計画」部分）  | 知識・技能（プレゼンテーション技術）・思考力・判断力・表現力等（リーダーシップ・対話力・協調性などの社会的能力）                          |
| 段階（規準）    |   |   |   |   |
| 1         | 現状を語る事ができている。   | フィールドワークの内容について話す事ができている。                                 | これから行おうとしている予定を表明することができる。  | パワーポイントのスライドを、規定に沿って作り、発表することができる。  |
| 2         | 現状とそこに至るまでのプロセスを断片的に語る事ができている。                                | フィールドワークの内容と、その成果について話す事ができている。                           | これから行おうとしている予定を具体的に表明することができる。  | 文字の大きさや色などを変えて「見やすさ」に工夫を加えることができ、時間内に発表することができる。                                  |
| 3         | 現状と、そこに至るまでのプロセスを、一連のストーリーとして語る事ができている。                       | フィールドワークの内容とその成果および課題について話す事ができている。                       | 残り期間で現実的に可能な展望（提言・実践）を具体的に表明することができる。   | 図や表なども使った視覚的な工夫を加えたパワーポイントスライドを作成できており、時間内に、かつ原稿にあまり目を通さずに発表することができる。             |
| 4         | 現状と、そこに至るまでのプロセスを語る事ができるとともに、その要因がどこにあるのかについて言及・表明することができる。   | フィールドワーク前の仮説に基づいて、その内容・成果・課題について整理し話す事ができている。             | 残り期間で現実的かつ地域課題の解決に向け効果があると想定できる活動について、道すじを立てて、具体的に表明することができる。                                 | パワーポイントのスライドに加え、話し方にも工夫を加えて、聴衆を引きつけようと努め、顔を見ながらることができる。                           |
| 5         | 達成目標を前提に、現状までのプロセスを言語化・可視化し、到達している点と追加検証を加える必要がある点とを明確にできている。 | フィールドワーク前に仮説に基づいたデータ検証や、現地で直面した課題に今後向かおうとする姿勢が明確に表明できている。 | 残り期間で現実的かつ地域課題の解決に向け効果のある具体的な提言等、および自分たちおよびその周囲が持続可能な形で実践に参画できるようにするための方略を道すじを立てて、表明することができる。 | 視覚情報としてのパワーポイントと、発表の発言内容との役割を明確にし、聴衆である生徒に対し対話を促しながら相互に考え、説得力を持った発表を時間内で行うことができる。 |

# 成果の検証

## ルーブリックによる検証

### 令和5年度ルーブリック

| 評価の観点          | 知識・技能  |  | 思考力・判断力・表現力等                                    |   |  | 主体的に学習に取り組む態度  |  |
|----------------|--|--|---|---|--|--|--|
|                | 情報収集力  | プレゼンテーション力   | テーマ設定力<br>課題発見力                                 | コミュニケーション力  | 論理的思考力   | キャリア形成力  | ふるさと貢献力  |
| 育成を図る資<br>質能力等 |  |  |   |   |  |  |  |
| 評価規準           | まっナビ・プロジェクト活動を通して得た情報や知識・技能についてまとめることができるか。              | パワーポイントやポスターに、見やすさ等内容に工夫が見られ、発表姿勢（原稿なしの発表）や時間は適切か                      | 課題研究活動を「自分ごと」として捉えたテーマ設定ができているか。                | 地域や班活動で協働する力がついているか   | 今後の展望（提言・実践）が明確か                                     | 課題研究活動と自分の進路がつながっており、その実現に向けて行動できているか。                     | 課題研究活動を通して、ふるさとに貢献しようとする態度が醸成されているか。             |
| 段階（基準）         |  |  |   |   |  |  |  |
| C              | まっナビ・プロジェクト活動を通して得た情報や知識をまとめることができていない。                  | パワーポイントやポスター等使って発表する技能が習得できていない。                                       | 自分の興味・関心に基づいた課題研究テーマが設定できていない。                  | 自分の役割や責任、自分と異なった考え方の他者を理解できていない。                            | 課題研究活動の成果と課題を表現することができていない                           | 自分の将来について考えることができていない。                                     | 課題研究活動がふるさとに貢献しようとする態度につながっていない。                 |
| B              | まっナビ・プロジェクト活動を通して得た情報や知識・技能についてまとめようとしている。               | パワーポイントやポスター等使って発表する技能を習得しようとしている。                                     | 自分の興味・関心に基づいた課題研究テーマを設定しようとしている。                | 自分の役割や責任、自分と異なった考え方の他者を理解しようとしている。                          | 課題研究活動の成果と課題を表現しようとしている。                             | 自分の将来を考えようとしている。   | 課題研究活動がふるさとに貢献しようとする態度につながるようになっている。             |
| A              | まっナビ・プロジェクト活動を通して得た情報や知識・技能についてまとめることができる。               | パワーポイントやポスター等使って発表する技能を習得できている。  | 自分の興味・関心に基づいた課題研究テーマを設定できている。                   | 自分の役割や責任、自分と異なった考え方の他者を理解できている。                             | 課題研究活動の成果と課題を道すじを立てて表現することができる。                      | 自分の将来について深く考えることができる。                                      | 課題研究活動がふるさとに貢献しようとする態度につながっている。                  |
| S              | まっナビ・プロジェクト活動を通して得た情報や知識・技能の成果および課題についてまとめることができる。       | 文字の大きさや色などを変えて「見やすさ」に工夫を加えることができ、時間内に発表することができる。                       | 自分の興味・関心と仮説に基づいた課題研究テーマが設定できている。                | 自分の役割や責任、自分と異なった考え方の他者を理解できており、他者との協働ができている。                | 課題研究活動で得たデータを根拠に成果と課題を道すじを立てて表現することができる。             | 具体的な進路について深く考え、キャリア形成（進路実現）と結びつけた課題研究活動の計画を立てている。          | 課題研究活動がふるさとに貢献しようとする態度につながっていることを地域等に説明できている。    |
| SS             | まっナビ・プロジェクト活動を通して得た情報や知識・技能の成果及び課題について道すじを立ててまとめることができる。 | 図や表なども使った視覚的な工夫を加えたパワーポイントスライドを作成でき、時間内に、かつ原稿にあまり目を通さずに発表する技能が習得できている。 | 自分の興味・関心と仮説に基づく課題研究テーマが設定でき、問いから探究すべき方向が導かれている。 | 自分の役割や責任、自分と異なった考え方の他者を理解できており、リーダーシップを發揮しながら、他者との協働ができている。 | 課題研究活動で得たデータを根拠に活動内容を整理・分析し、成果と課題を道すじを立てて表現することができる。 | 具体的な進路について深く考え、キャリア形成（進路実現）に向けた計画を立て、その実現に向けた課題研究活動ができている。 | 課題研究活動とふるさとに貢献しようとする態度を地域等に説明でき、それが実践活動まで結びついている |



# 成果の検証

質問紙法（松浦高校作成）による検証の一例

## 計画 の成果指標

課題研究発表会等において、審査員等から地域活性化への貢献度が高いと認められた研究プロジェクト数の割合（％）

## 質問内容

あなたの班の地域課題解決型学習のテーマは地域活性化につながつと思うか。

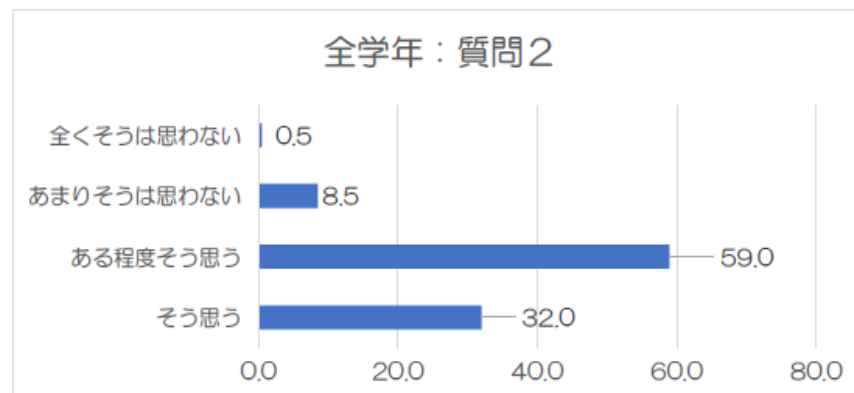
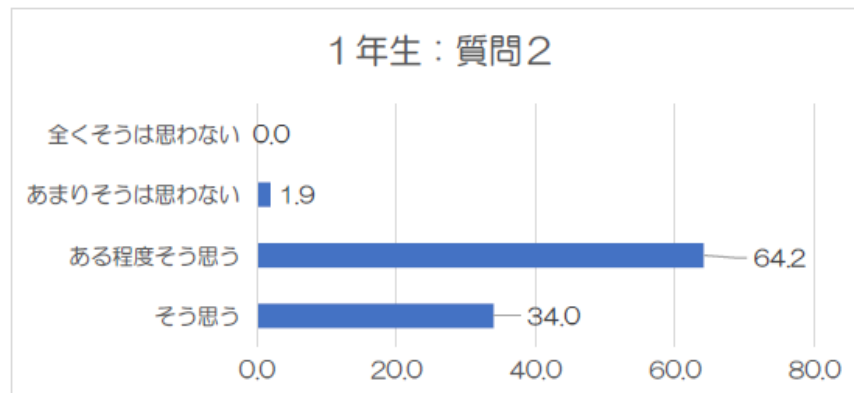
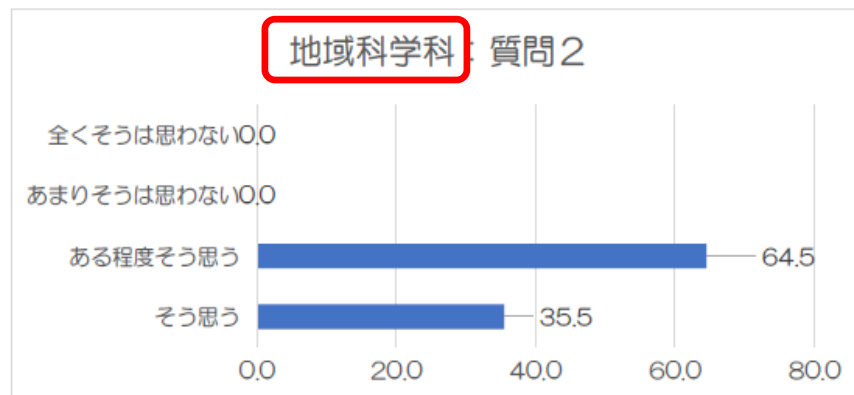
### 【成果】

「そう思う」「ある程度そう思う」が地域科学科は100%ととても高く、調査時、地域科学科は仮のテーマ設定中であり、地域活性化に貢献したいという気持ちが高い。

### 【課題】

これから経年での比較検証をする必要がある

## アンケート結果



# 成果の検証

## 高校魅力化評価システム分析結果による検証

### 【成果】

対象：全校生徒206名、教職員21名

松浦高校の良い面・強み：肯定的回答割合が最も高い項目

| 項目               | 割合(%) | 項目の内容                          |
|------------------|-------|--------------------------------|
| a【学習活動（協働性）】     | 83.0  | グループで協力しながら学習や調べものを行う          |
| b【学習環境（主体性）】     | 87.9  | 挑戦する人に対して、応援する雰囲気がある           |
| c【自己認識】          | 88.3  | 自分とは異なる意見や価値を尊重することができる        |
| d【行動実績（主体性）】     | 78.6  | 授業で分からないことを、自分から質問したり、分かる人に聞いた |
| e【ウェルビーイング（協働性）】 | 82.5  | 学校の一員だと感じている                   |

#### 【成果】

グループ活動をよくやっており、互いを尊重するマインドが醸成されている

# 成果の検証

## 高校魅力化評価システム分析結果による検証

### 【課題】

対象：全校生徒206名、教職員21名

松浦高校の課題：肯定的回答割合が最も低い項目

| 項目               | 割合(%) | 項目の内容                     |
|------------------|-------|---------------------------|
| f【学習活動（主体性）】     | 35.0  | 学校外のいろいろな人に話を聞きに行く        |
| g【学習環境（主体性）】     | 45.1  | 地域に、尊敬している・憧れている大人がいる     |
| h【自己認識】          | 34.5  | 私に関わることで、社会状況が変えられるかもしれない |
| i【行動実績（社会性）】     | 33.5  | 地域社会などでボランティア活動に参加した      |
| j【ウェルビーイング（社会性）】 | 44.7  | 地域文化や暮らしを、自らの手で未来に伝えたい    |

#### 【課題】

地域との関わりが弱い  
社会にあまり目が向けられていない